栽培方法

きゅうり　若緑地這

蒔く時期　：４月～7月
収穫時期　：７月～9月

特徴

暑さや病気に強く育てやすい品種です。果実は鮮緑色で、曲がりが少なく、
歯切れが良く濃厚な味です。普通栽培もできますが、抑制栽培（盛夏から初秋に直播き）で
霜がおりるまで収穫することもできます。

育て方

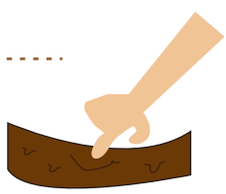
【用土】

- 極端な酸性土壌や、アルカリ土壌ではなく弱酸性Ph6～6.5程度が適しています。

【植え付け】

発芽適温：20 ～ 25℃
栽培適期 (温暖地)：普通まき４～５月、遅まき６～７月

- 露地普通栽培の場合、遅霜の心配が無くなる頃を目安に植え付け日を決めます。
- 遅まきで利用する場合は直播きもできます。



【間引き】

- 直播きの場合は一穴に３～４粒播き、発芽揃い直後（双葉展開時）に２本残し、
本葉２～３枚期を過ぎてから１本立ちとします。

【水やり】

- 適宜行います。特に盛夏に日中萎れるような症状がある際はこまめに水やりを行います。

【追肥】

- 通常は必要ないですが、葉がたれ気味になる兆候があったり、葉色が薄くなり始めるような兆候が
あるなどした場合は、ボカシ肥を一株当たり手のひらで軽く一握り位株元などにばらまいても良いです。

【収穫】

- 果長１６～２０㎝内外で、果重が１００g前後くらいが果実収穫期です。

病害虫

アブラムシ、
べと病、
うどんこ病、
（アブラムシ媒介による）
モザイクウィルス

【管理・栽培のポイント】

- 誘引を適切に行い、ツルを痛めないようにしましょう。
- 脇芽の発生が多く脇芽に着果するタイプのため、株間を広めにすると良いです。